

# 救急蘇生統計

(令和2年)

令和3年3月

松江市消防本部

## 1 集計期間・集計対象

令和2年1月1日から12月31日までに松江市消防本部管内で発生した心肺機能停止症例（ウツタイン様式オンライン入力要領 消防庁救急企画室 Ver4.0.2に基づく傷病者）を本集計の対象とした。その要件については以下の通り。

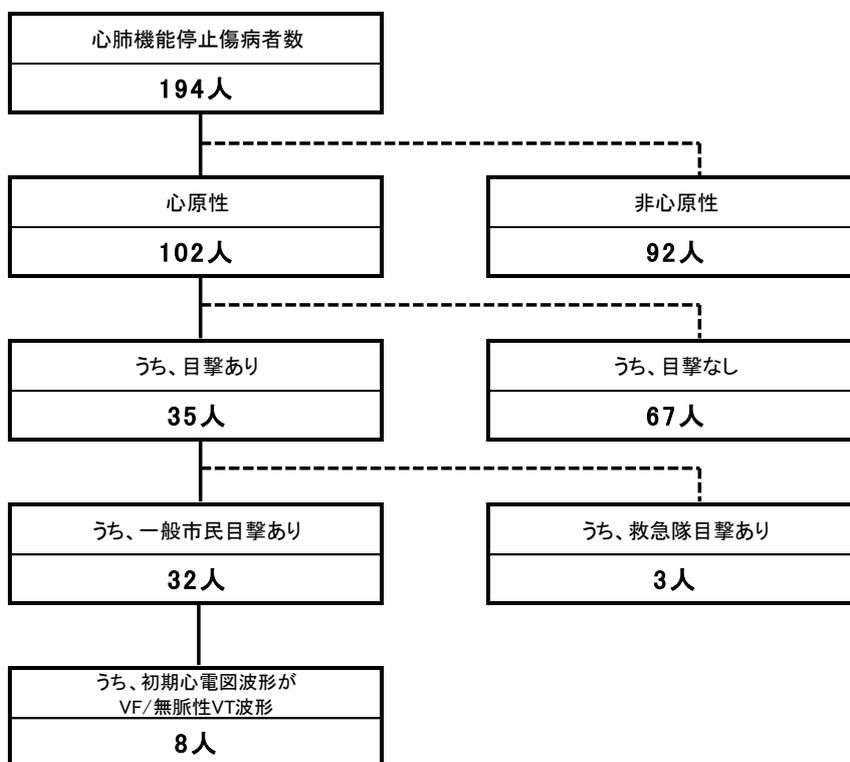
- (1) 救急隊が現場で傷病者を確認した時点において、心肺機能停止であった事例。
- (2) 救急搬送途上において、心肺機能停止に陥った事例。
- (3) 一時的に心肺機能停止であったと推測されるが、救急隊到着時には心拍及び呼吸若しくは心拍又は呼吸のいずれかが再開していた事例。
- (4) 医療機関での心肺機能停止傷病者で、医師による一次救命処置のみ実施されていた事例。

### ※集計対象外

- ・ 何らかの理由により心肺蘇生を行わず搬送した場合。
- ・ 転院搬送等で救急隊が心肺蘇生を行わず、医師、看護師等が心肺蘇生を行った場合。
- ・ 医療機関での心肺機能停止傷病者で、医師による二次救命処置（一次救命処置に加え、高度な気道確保（気管挿管など）や静脈路などの確保と薬剤投与等の処置をいう）がすでに行われている場合。

## 2 ウツタインの統計系統図

令和2年中に搬送された心肺機能停止傷病者は**194人**で、心原性の傷病者数は**102人**、非心原性の傷病者数は**92人**であった。



### 3 概要

令和2年中の心肺機能停止傷病者194人のうち病院前心拍再開は26人(13.4%)、1ヵ月後生存は8人(4.1%)、社会復帰は6人(3.1%)であった。

#### (1) 性別と年齢区分

心肺機能停止傷病者194人のうち、男性は110人(56.7%)、女性は84人(43.3%)であった(図1・2参照)。年齢区分では、80~89歳が最も多かった。(表1参照)

図1 傷病者の性別

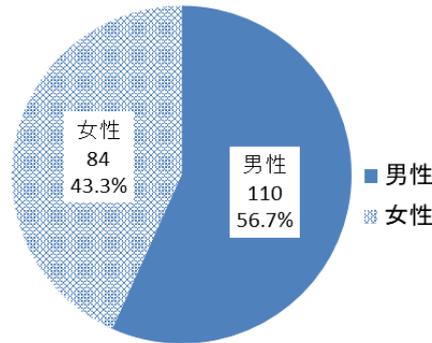


図2 傷病者の性別(10ヵ年推移)

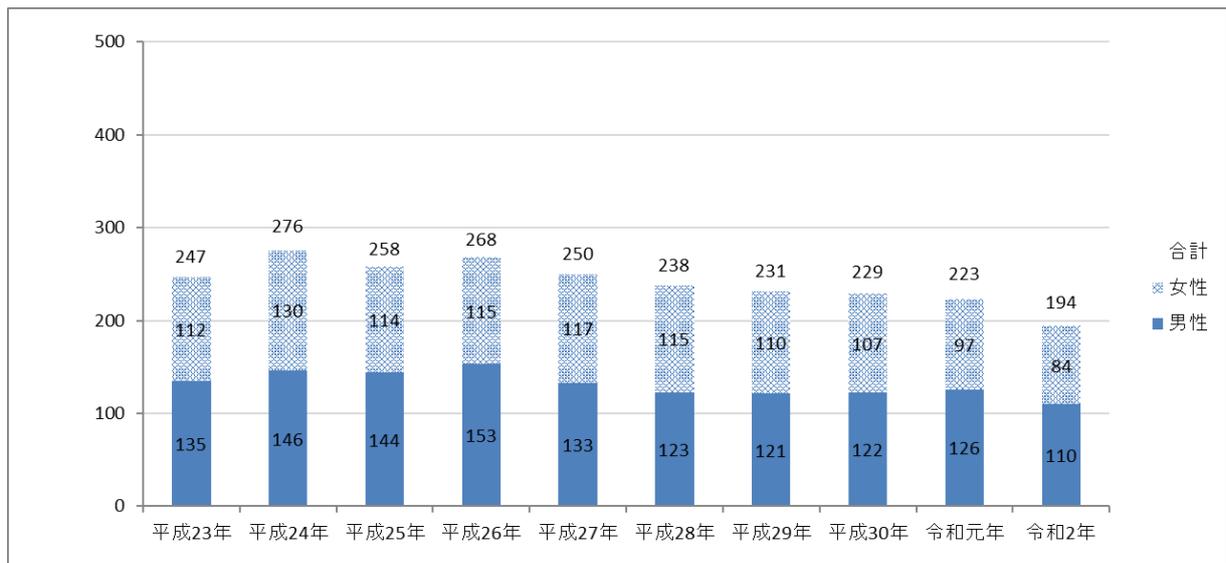


表1 傷病者の年齢区分(10ヵ年推移)

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	合計	
年齢区分	0~9	4	4	1	3	0	2	1	3	0	2	20
	10~19	1	1	0	2	2	0	0	1	3	0	10
	20~29	3	2	3	6	5	5	3	4	3	3	37
	30~39	5	3	7	7	3	6	0	4	5	6	46
	40~49	10	6	12	9	6	4	10	3	5	6	71
	50~59	13	13	14	17	13	11	13	10	6	11	121
	60~69	24	41	35	27	39	33	33	23	29	15	299
	70~79	53	64	57	54	49	40	43	48	42	44	494
	80~89	89	98	88	90	91	88	77	80	72	64	837
	90~99	42	41	40	51	40	46	48	49	54	39	450
100~119	3	3	1	2	2	3	3	4	4	4	29	
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	247	276	258	268	250	238	231	229	223	194	2,414	

## (2) 事故発生場所

心肺機能停止傷病者について事故発生場所別にみると、住宅が108人(55.7%)と最も多く、なかでも居室・寝室での発生が多かった(全体の35.6%)。公衆出入場所は71人(36.6%)であり、なかでも老人ホームでの発生が多かった(全体の27.3%)。(図3・表2参照)

図3 心肺機能停止傷病者の発生場所

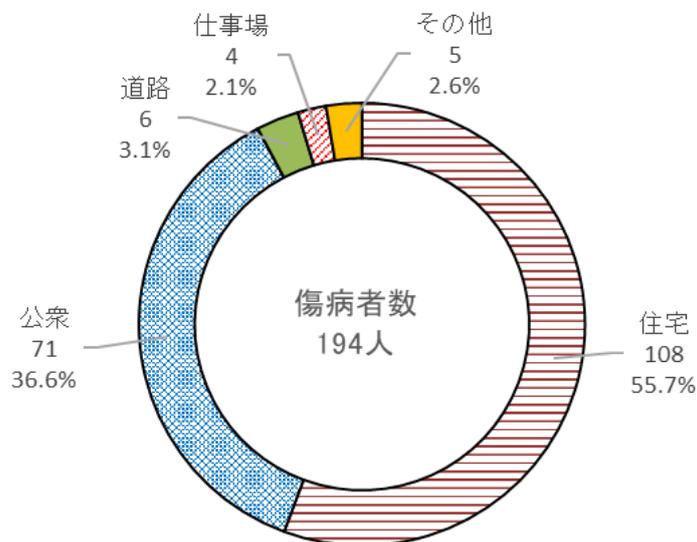


表2 心肺機能停止傷病者の発生場所  
(住宅・公衆出入場所・道路)

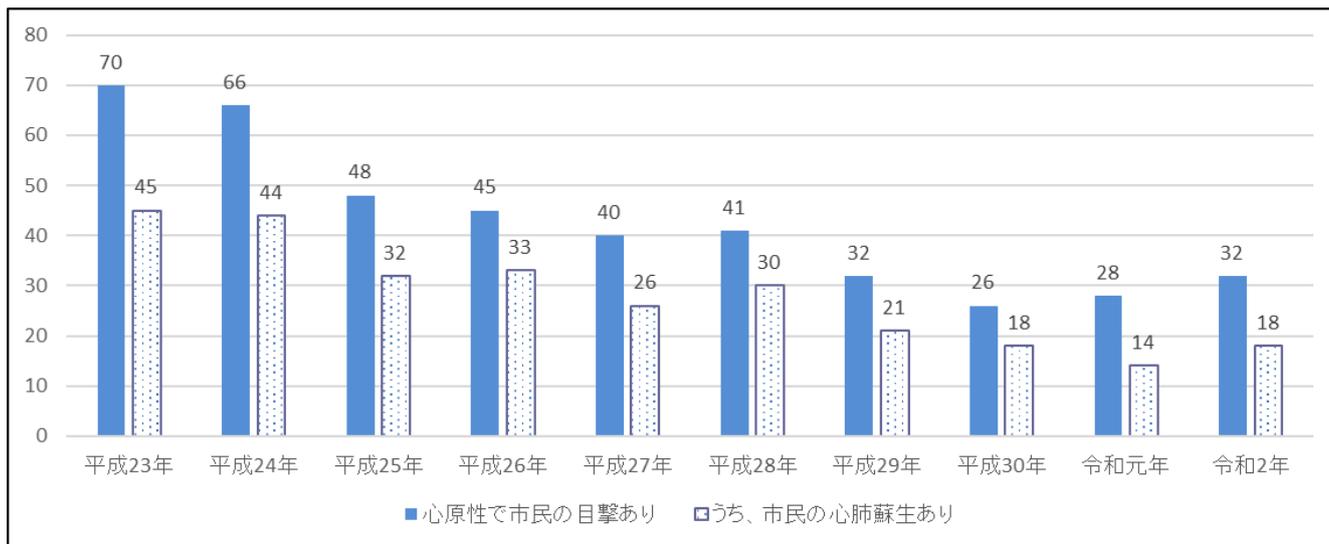
		傷病者数	構成比
住宅	居室・寝室	69	35.6%
	浴室	12	6.2%
	廊下・玄関	4	2.1%
	便所	10	5.2%
	台所・食堂	7	3.6%
	その他(庭・テラス等)	6	3.1%
	計	108	55.7%
公衆出入場所	老人ホーム	53	27.3%
	病院・診療所	3	1.5%
	旅館・ホテル等	3	1.5%
	飲食店等	0	0.0%
	マーケット等	2	1.0%
	その他(駐車場・車庫等)	10	5.2%
	計	71	36.6%
道路	一般道路等	4	2.1%
	高速自動車国道	0	0.0%
	自動車専用道路	1	0.5%
	その他(交差点・横断歩道等)	1	0.5%
	計	6	3.1%

### (3) 一般市民による応急手当の実施

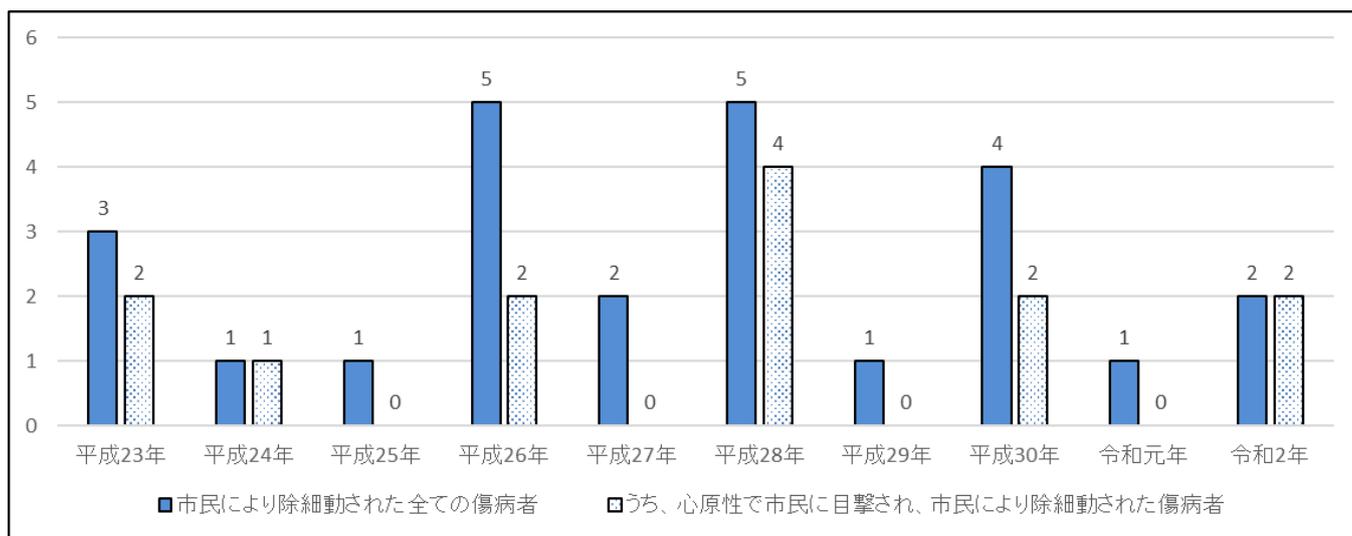
心原性で一般市民により目撃された傷病者は 32 人であり、そのうち一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者は 18 人であった。（図 4 参照）

一般市民による除細動が実施された傷病者は 2 人であった。（図 5 参照）

**図 4 心原性で一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者数  
(10 カ年推移)**



**図 5 心原性で一般市民により目撃され、一般市民による除細動が実施された傷病者数  
(10 カ年推移)**



## 4 心原性の傷病者に関する分析

以下、心原性の傷病者について分析する。

### (1) 目撃された傷病者の生存率

心原性で一般市民により目撃された傷病者は32人であり、うち1ヵ月後生存者は5人であり、いずれも社会復帰した(図6参照)。10ヵ年集計については、図7のとおり。10ヵ年推移については、表3のとおり。

一般市民により目撃された傷病者の性別・年齢区分の10ヵ年集計については、表4のとおり。

### 目撃された傷病者の生存率(令和2年)

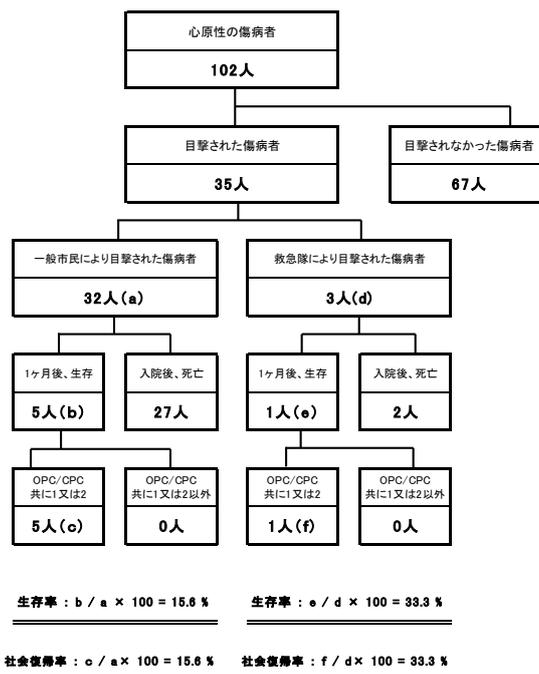


図7 目撃された傷病者の生存率(10ヵ年集計)

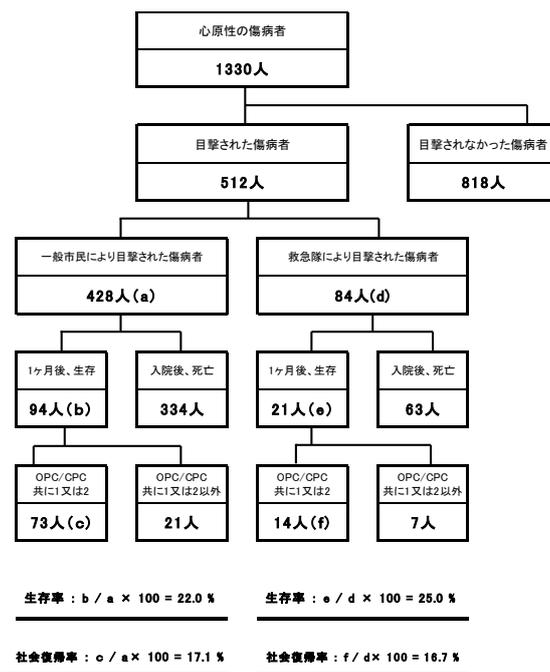


表3 目撃された傷病者の生存率（10カ年推移）

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
心原性の傷病者		173	182	137	139	123	122	123	102	127	102
目撃された傷病者		81	80	60	54	44	50	39	34	35	35
一般市民により目撃された傷病者		70	66	48	45	40	41	32	26	28	32
1か月後生存		17	20	8	12	8	9	8	4	3	5
生存率		24.3%	30.3%	16.7%	26.7%	20.0%	22.0%	25.0%	15.4%	10.7%	15.6%
OPC/CPC共に1又は2		15	14	5	8	7	6	7	3	3	5
社会復帰率		21.4%	21.2%	10.4%	17.8%	17.5%	14.6%	21.9%	11.5%	10.7%	15.6%
救急隊により目撃された傷病者		11	14	12	9	4	9	7	8	7	3
1か月後生存		1	4	4	1	0	2	4	1	3	1
生存率		9.1%	28.6%	33.3%	11.1%	0.0%	22.2%	57.1%	12.5%	42.9%	33.3%
OPC/CPC共に1又は2		1	3	3	0	0	1	3	1	1	1
社会復帰率		9.1%	21.4%	25.0%	0.0%	0.0%	11.1%	42.9%	12.5%	14.3%	33.3%
目撃されなかった傷病者		92	102	77	85	79	72	84	68	92	67

表4 一般市民により目撃された傷病者の性別・年齢区別生存率（10カ年集計）

		10カ年集計											
		総数	心原性で一般市民により目撃された傷病者										
			男性						女性				
			人数	1か月後生存者		1か月後社会復帰		人数	1か月後生存者		1か月後社会復帰		
1か月後生存率	1か月後社会復帰率	1か月後生存率		1か月後社会復帰率									
年齢区分	0～9	20	4	2	2	100.0%	2	100.0%	2	2	100.0%	2	100.0%
	10～19	10	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%
	20～29	37	3	2	1	50.0%	0	0.0%	1	0	0.0%	0	0.0%
	30～39	46	5	4	2	50.0%	2	50.0%	1	1	100.0%	1	100.0%
	40～49	71	18	14	7	50.0%	7	50.0%	4	2	50.0%	2	50.0%
	50～59	121	25	20	9	45.0%	9	45.0%	5	4	80.0%	4	80.0%
	60～69	299	58	45	10	22.2%	8	17.8%	13	2	15.4%	1	7.7%
	70～79	494	78	60	17	28.3%	12	20.0%	18	3	16.7%	2	11.1%
	80～89	837	143	76	13	17.1%	9	11.8%	67	9	13.4%	6	9.0%
	90～99	450	89	26	2	7.7%	1	3.8%	63	8	12.7%	5	7.9%
	100～119	29	5	0	0	0.0%	0	0.0%	5	0	0.0%	0	0.0%
不詳	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%	
合計	2414	428	249	63	25.3%	50	20.1%	179	31	17.3%	23	12.8%	

## (2) 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率

一般市民により目撃された傷病者 32 人のうち、一般市民により心肺蘇生が実施された傷病者は 18 人であった。そのうち 1 ヶ月後生存者は 3 人であり、いずれも社会復帰した。(図 8 参照) 10 ヶ年集計については、図 9 のとおり。10 ヶ年推移については、表 5 のとおり。

図 8 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率 (令和 2 年)

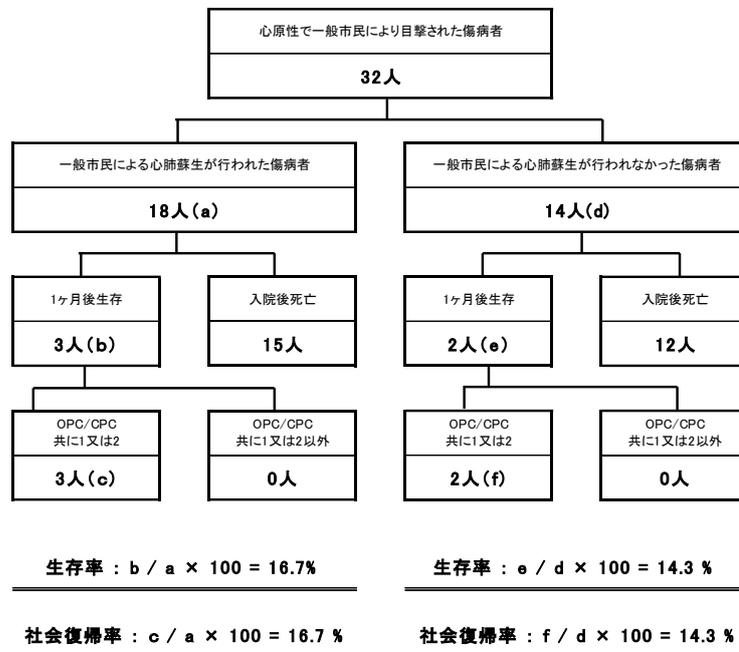


図 9 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率 (10 ヶ年集計)

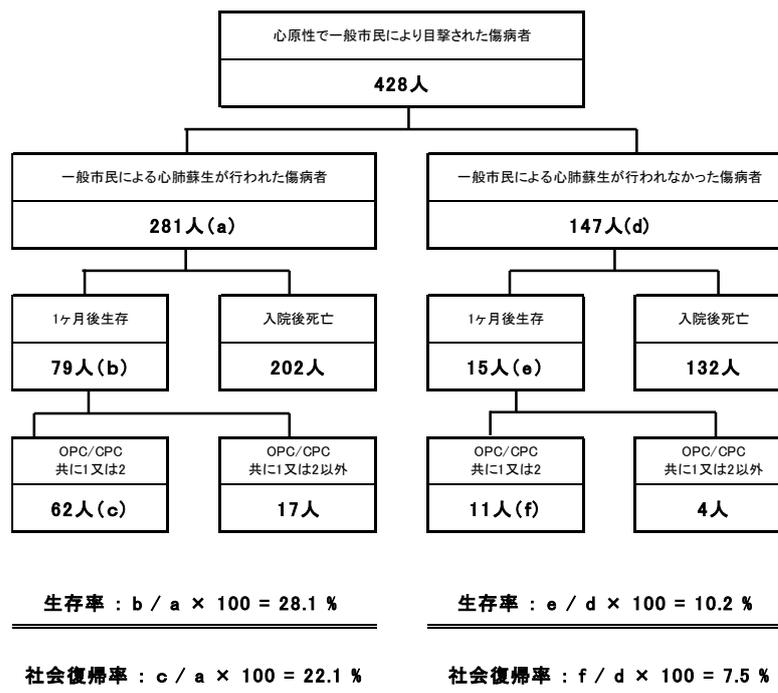


表5 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率  
(10カ年推移)

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
心原性で一般市民により目撃された傷病者		70	66	48	45	40	41	32	26	28	32
一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者		45	44	32	33	26	30	21	18	14	18
	1か月後生存	17	19	6	10	5	8	6	2	3	3
	生存率	37.8%	43.2%	18.8%	30.3%	19.2%	26.7%	28.6%	11.1%	21.4%	16.7%
	OPC/CPC共に1又は2	15	13	4	7	5	5	5	2	3	3
	社会復帰率	33.3%	29.5%	12.5%	21.2%	19.2%	16.7%	23.8%	11.1%	21.4%	16.7%
一般市民による心肺蘇生が実施されなかった傷病者		25	22	16	12	14	11	11	8	14	14
	1か月後生存	0	1	2	2	3	1	2	2	0	2
	生存率	0.0%	4.5%	12.5%	16.7%	21.4%	9.1%	18.2%	25.0%	0.0%	14.3%
	OPC/CPC共に1又は2	0	1	1	1	2	1	2	1	0	2
	社会復帰率	0.0%	4.5%	6.3%	8.3%	14.3%	9.1%	18.2%	12.5%	0.0%	14.3%

### (3) 一般市民により目撃され、一般市民による除細動が実施された傷病者の生存率

一般市民による除細動が実施された傷病者は2人であった。(図10参照)。10ヵ年集計については、図11のとおり。10ヵ年推移については表6のとおり。

図10 一般市民により目撃され、一般市民による除細動が実施された傷病者の生存率  
(令和2年)

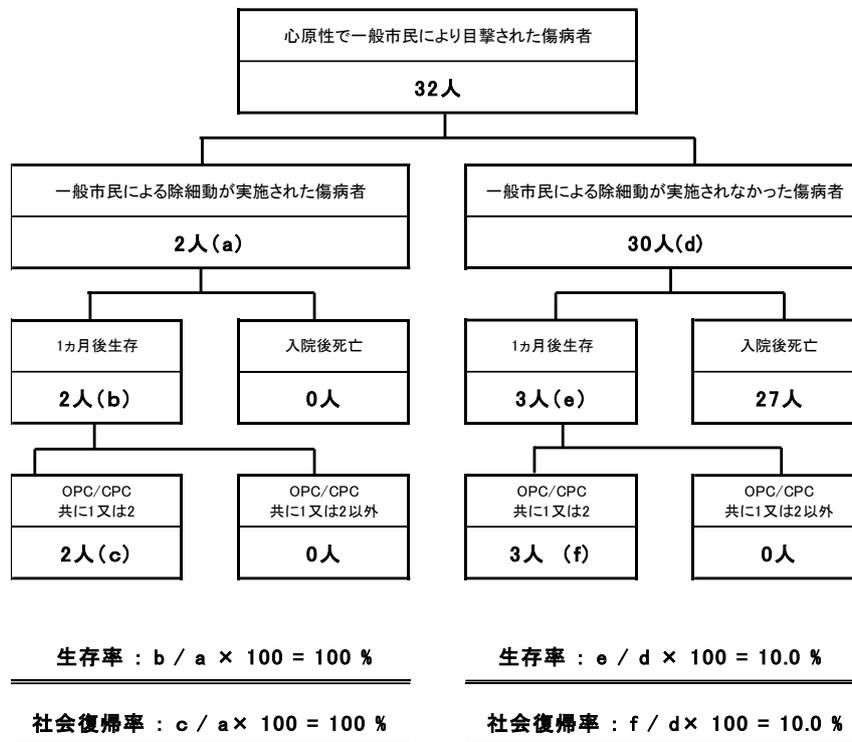


図11 一般市民により目撃され、一般市民による除細動が実施された傷病者の生存率  
(10ヵ年集計)

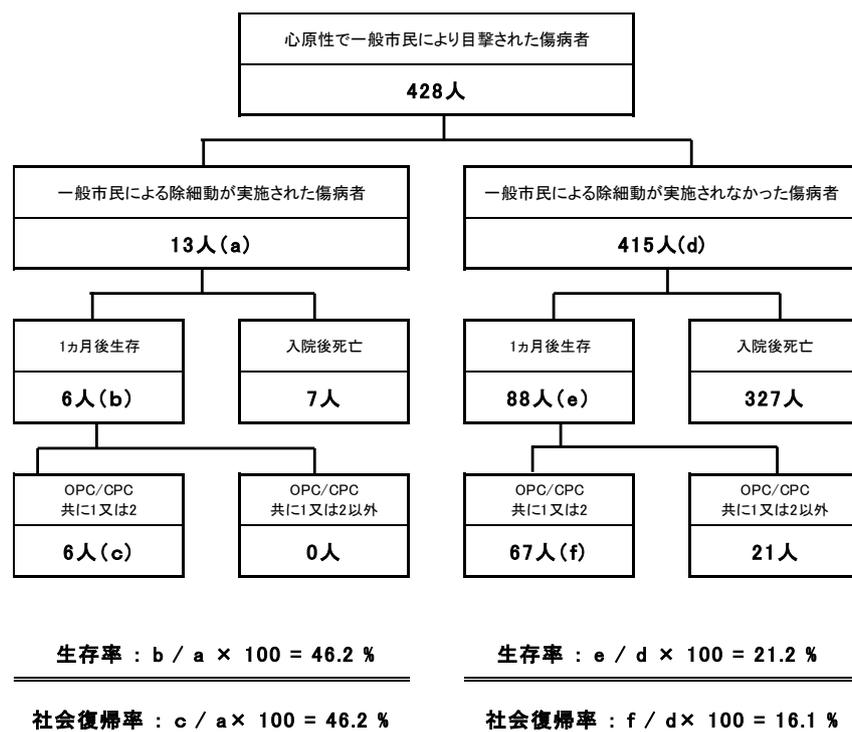


表6 一般市民により目撃され、一般市民による除細動が実施された傷病者の生存率  
(10カ年推移)

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
心原性で一般市民により目撃された傷病者		70	66	48	45	40	41	32	26	28	32
一般市民により除細動が実施された傷病者		2	1	0	2	0	4	0	2	0	2
1か月後生存		0	1	0	1	0	2	0	0	0	2
生存率		0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	1	0	1	0	2	0	0	0	2
社会復帰率		0.0%	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
一般市民により除細動が実施されなかった傷病者		68	65	48	43	40	37	32	24	28	30
1か月後生存		17	19	8	11	8	7	8	4	3	3
生存率		25.0%	29.2%	16.7%	25.6%	20.0%	18.9%	25.0%	16.7%	10.7%	10.0%
OPC/CPC共に1又は2		15	13	5	7	7	4	7	3	3	3
社会復帰率		22.1%	20.0%	10.4%	16.3%	17.5%	10.8%	21.9%	12.5%	10.7%	10.0%
一般市民により除細動の有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**(4) 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者の生存率**

令和2年中に一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者は8人であり、そのうち1ヵ月後生存者は2人であり、いずれも社会復帰した(図12参照)。10ヵ年集計については図13のとおり。10ヵ年推移については、表7のとおり。

**図12 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者の生存率(令和2年)**

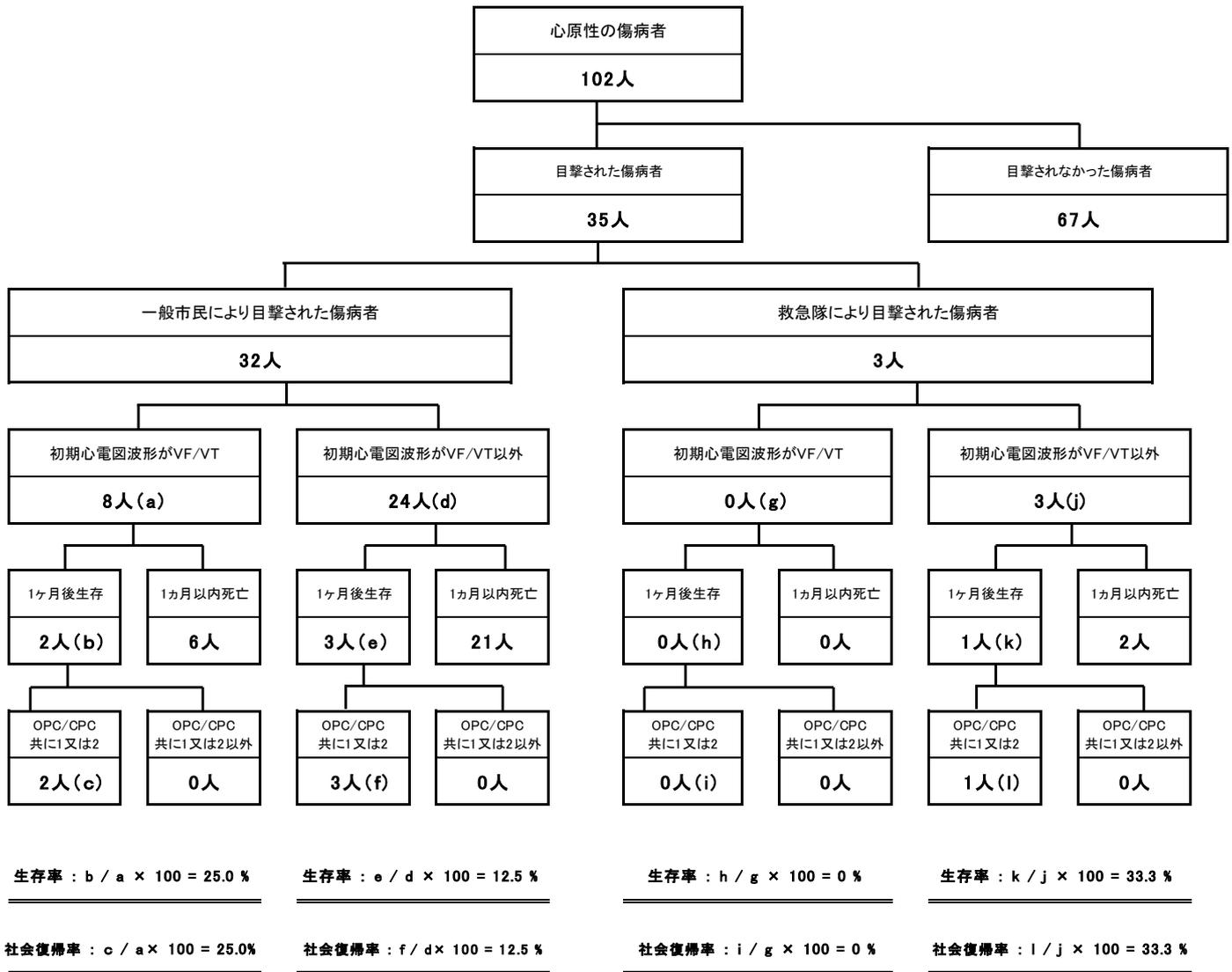


図 13 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者の生存率 (10カ年集計)

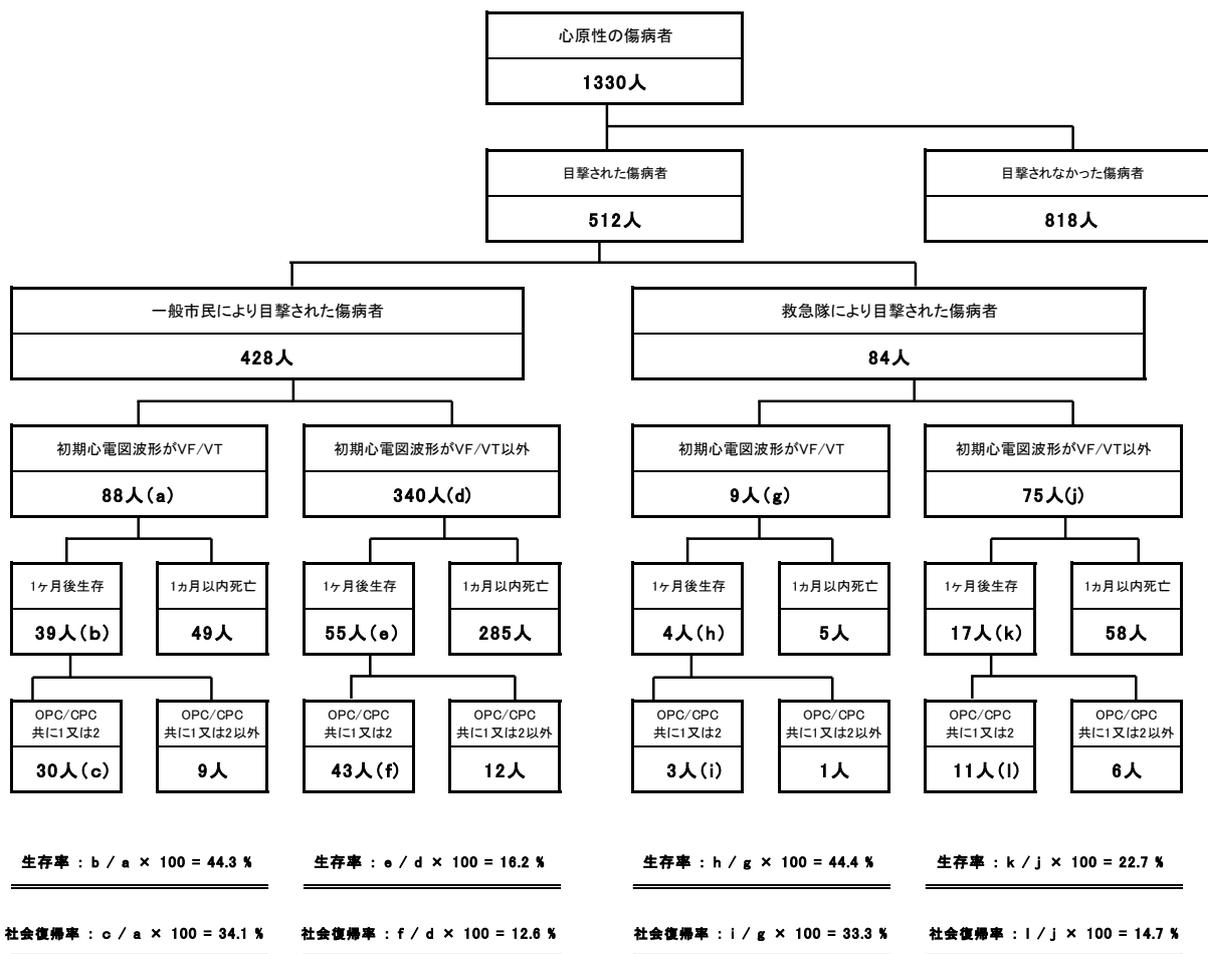


表 7 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者の生存率 (10カ年推移)

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
心原性の傷病者		173	182	137	139	123	122	123	102	127	102
目撃された傷病者		81	80	60	54	44	50	39	34	35	35
一般市民により目撃された傷病者		70	66	48	45	40	41	32	26	28	32
初期心電図波形がVF/VT		6	10	8	10	5	14	12	8	7	8
1ヶ月後生存		3	8	2	5	3	4	5	4	3	2
生存率		50.0%	80.0%	25.0%	50.0%	60.0%	28.6%	41.7%	50.0%	42.9%	25.0%
OPC/CPC共に1又は2		3	3	1	4	3	3	5	3	3	2
社会復帰率		50.0%	30.0%	12.5%	40.0%	60.0%	21.4%	41.7%	37.5%	42.9%	25.0%
初期心電図波形がVF/VT以外		64	56	40	35	35	27	20	18	21	24
1ヶ月後生存		14	12	6	7	5	5	3	0	0	3
生存率		21.9%	21.4%	15.0%	20.0%	14.3%	18.5%	15.0%	0.0%	0.0%	12.5%
OPC/CPC共に1又は2		12	11	4	4	4	3	2	0	0	3
社会復帰率		18.8%	19.6%	10.0%	11.4%	11.4%	11.1%	10.0%	0.0%	0.0%	12.5%
救急隊により目撃された傷病者		11	14	12	9	4	9	7	8	7	3
初期心電図波形がVF/VT		0	3	3	1	0	0	2	0	0	0
1ヶ月後生存		0	0	2	0	0	0	2	0	0	0
生存率		0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	0	2	0	0	0	1	0	0	0
社会復帰率		0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
初期心電図波形がVF/VT以外		11	11	9	8	4	9	5	8	7	3
1ヶ月後生存		1	4	2	1	0	2	2	1	3	1
生存率		9.1%	36.4%	22.2%	12.5%	0.0%	22.2%	40.0%	12.5%	42.9%	33.3%
OPC/CPC共に1又は2		1	3	1	0	0	1	2	1	1	1
社会復帰率		9.1%	27.3%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	40.0%	12.5%	14.3%	33.3%
目撃されなかった傷病者		92	102	77	85	79	72	84	68	92	67

(5) 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、一般市民による心肺蘇生の有無別生存率

一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであり、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者は3人であり、そのうち1ヵ月後生存者は0人であった(図14参照)。10ヵ年集計については、図15のとおり。10ヵ年推移については、表8のとおり。

図14 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、一般市民による心肺蘇生の有無別生存率(令和2年)

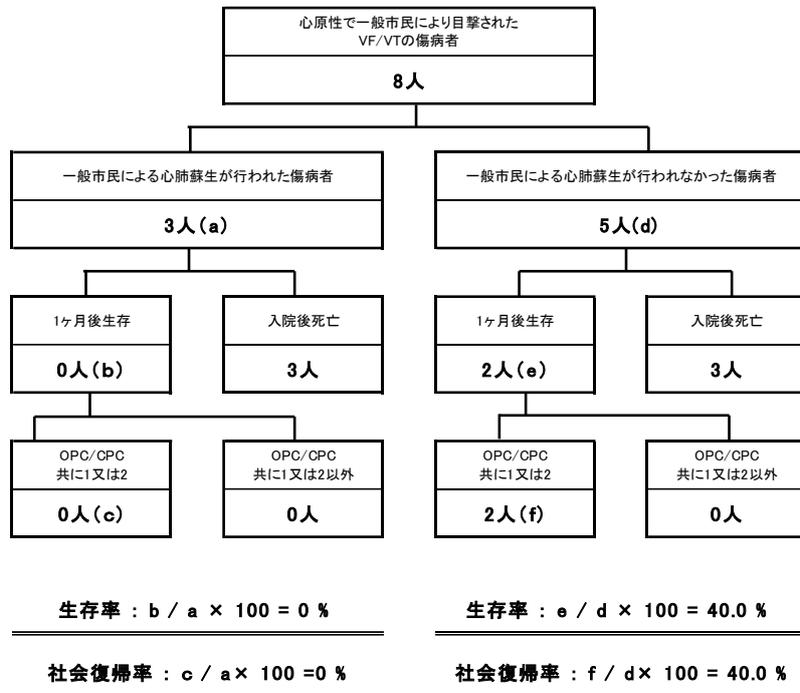


図15 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、一般市民による心肺蘇生の有無別生存率(10ヵ年集計)

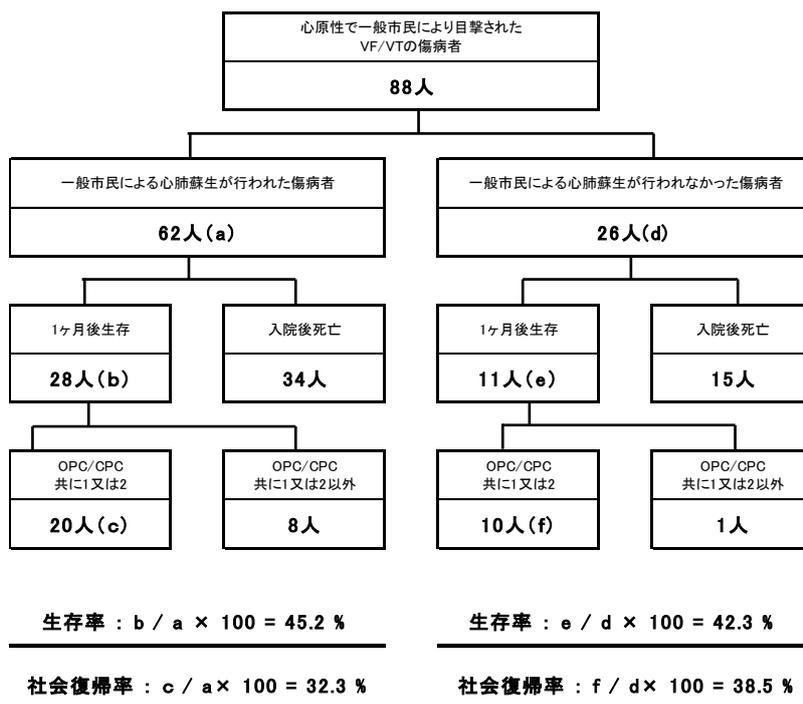


表8 一般市民により目撃され、初期心電図形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、一般市民による心肺蘇生の有無別生存率（10カ年推移）

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
心原性で一般市民により目撃されたVF/VTの傷病者		6	10	8	10	5	14	12	8	7	8
一般市民による心肺蘇生が行われた傷病者		5	8	7	8	1	11	8	5	6	3
1か月後生存		3	7	2	4	1	3	3	2	3	0
生存率		60.0%	87.5%	28.6%	50.0%	100.0%	27.3%	37.5%	40.0%	50.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		3	2	1	3	1	2	3	2	3	0
社会復帰率		60.0%	25.0%	14.3%	37.5%	100.0%	18.2%	37.5%	40.0%	50.0%	0.0%
一般市民による心肺蘇生が行われなかった傷病者		1	2	1	2	4	3	4	3	1	5
1か月後生存		0	1	0	1	2	1	2	2	0	2
生存率		0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	33.3%	50.0%	66.7%	0.0%	40.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	1	0	1	2	1	2	1	0	2
社会復帰率		0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	33.3%	50.0%	33.3%	0.0%	40.0%

(6) 一般市民により目撃された傷病者における、救急隊による心肺蘇生開始までの時間別生存率

一般市民により目撃された傷病者のうち、目撃された時点から救急隊による心肺蘇生開始までの時間が5分～10分未満であった傷病者において2人が、10分～15分未満であった傷病者において1人が社会復帰した(図16参照)。10ヵ年集計については、図17のとおり。10ヵ年推移については表9のとおり。

図16 一般市民により目撃された傷病者における、救急隊による心肺蘇生開始までの時間別生存率(令和2年)

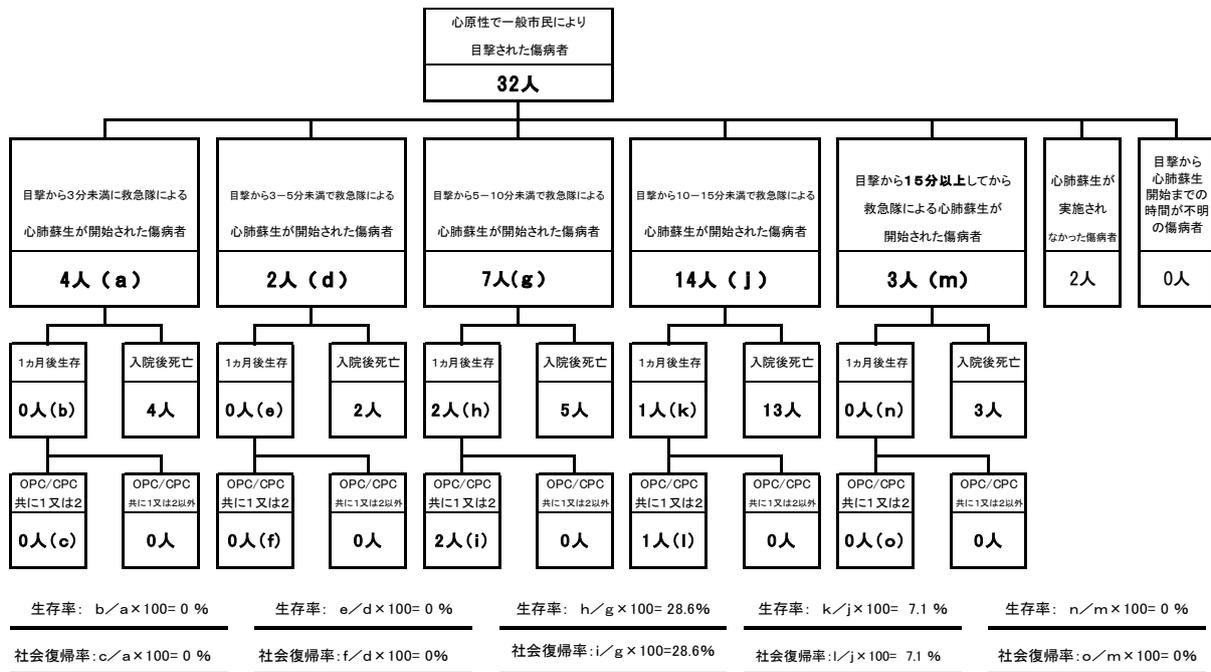


図17 一般市民により目撃された傷病者における、救急隊による心肺蘇生開始までの時間別生存率(10ヵ年集計)

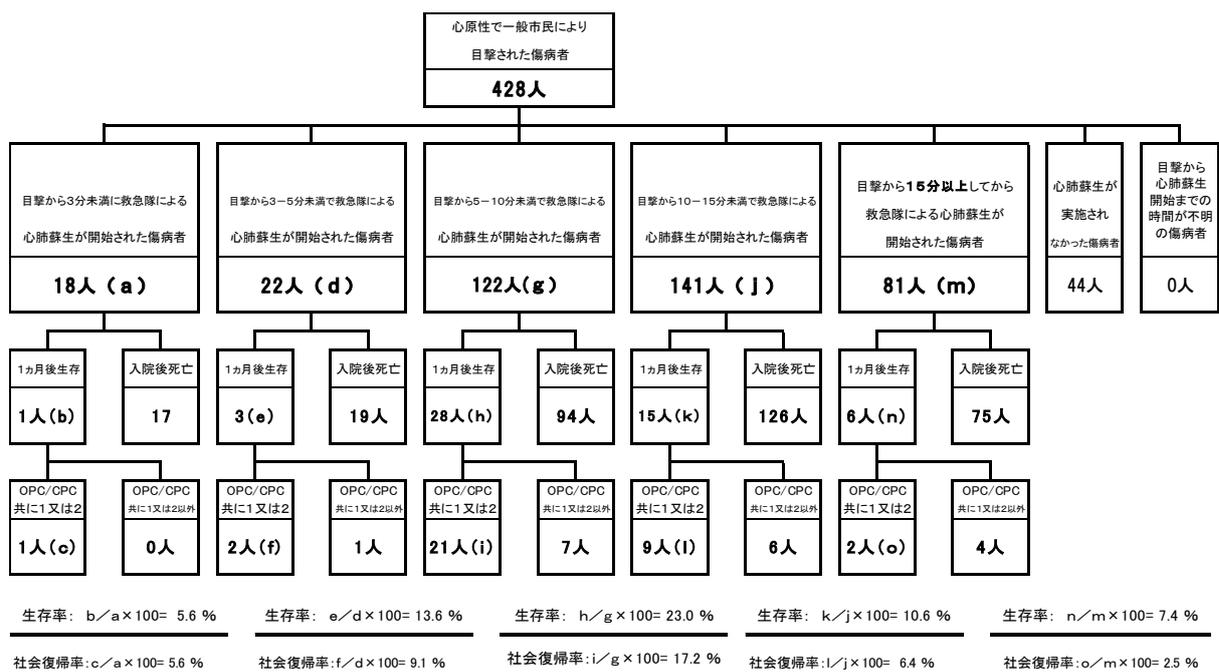


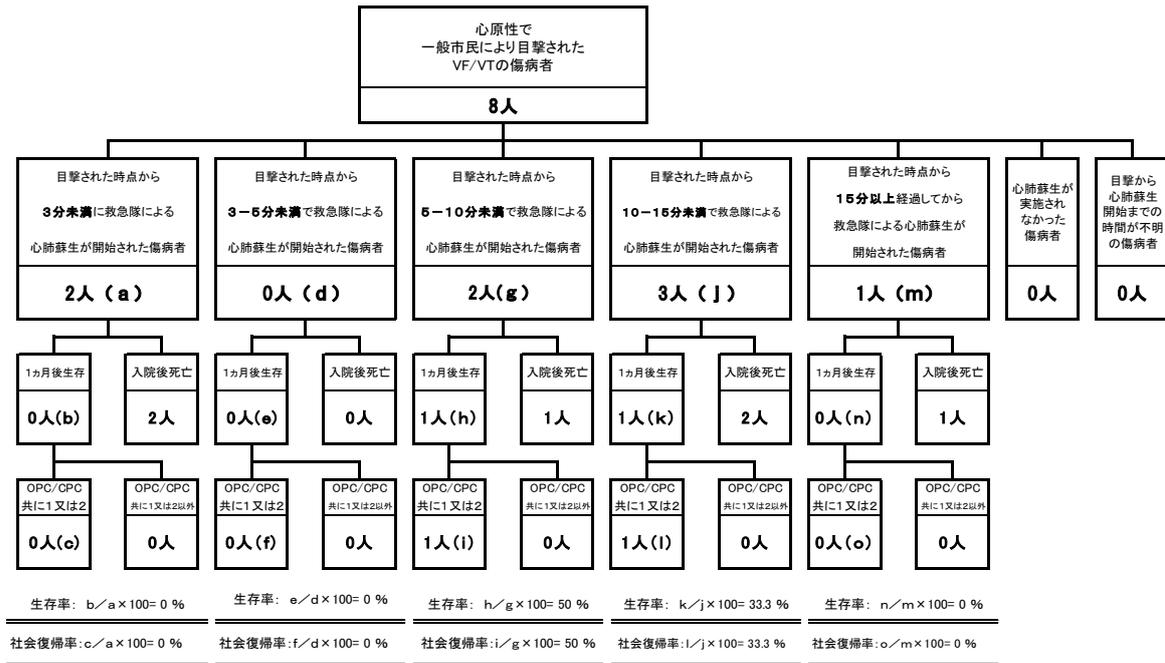
表9 一般市民により目撃された傷病者における、救急隊による心肺蘇生開始までの時間別生存率  
(10カ年推移)

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
心原性で一般市民により目撃された傷病者		70	66	48	45	40	41	32	26	28	32
目撃された時点から3分未満に救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		7	0	1	1	1	1	2	0	1	4
1か月後生存		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
生存率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
社会復帰率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
目撃された時点から3-5分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		1	4	5	1	4	4	0	1	0	2
1か月後生存		0	0	1	0	0	2	0	0	0	0
生存率		0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
社会復帰率		0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
目撃された時点から5-10分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		21	17	14	13	16	11	10	7	6	7
1か月後生存		5	2	2	4	3	2	3	3	1	2
生存率		23.8%	11.8%	14.3%	30.8%	18.8%	18.2%	30.0%	42.9%	16.7%	28.6%
OPC/CPC共に1又は2		4	1	1	3	2	1	3	3	1	2
社会復帰率		19.0%	5.9%	7.1%	23.1%	12.5%	9.1%	30.0%	42.9%	16.7%	28.6%
目撃された時点から10-15分で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		16	22	14	12	9	15	11	12	15	14
1か月後生存		0	5	1	3	1	0	2	0	2	1
生存率		0.0%	22.7%	7.1%	25.0%	11.1%	0.0%	18.2%	0.0%	13.3%	7.1%
OPC/CPC共に1又は2		0	2	0	1	1	0	2	0	2	1
社会復帰率		0.0%	9.1%	0.0%	8.3%	11.1%	0.0%	18.2%	0.0%	13.3%	7.1%
目撃された時点から15分以上経過してから救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		12	9	10	14	6	7	9	6	6	3
1か月後生存		0	1	0	1	0	1	2	1	0	0
生存率		0.0%	11.1%	0.0%	7.1%	0.0%	14.3%	22.2%	16.7%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
社会復帰率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
心肺蘇生が実施されなかった傷病者		13	14	4	4	4	3	0	0	0	2

**(7)一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、救急隊による心肺蘇生が開始されるまでの時間別生存率**

一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者のうち、目撃された時点から救急隊による心肺蘇生開始までの時間が5分～10分未満であった傷病者において1人が、10分～15分未満であった傷病者において1人が社会復帰した(図18参照)。10ヵ年集計については図19のとおり。10ヵ年推移については表10のとおり。

**図18 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、救急隊による心肺蘇生が開始されるまでの時間別生存率(令和2年)**



**図19 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、救急隊による心肺蘇生が開始されるまでの時間別生存率(10ヵ年集計)**

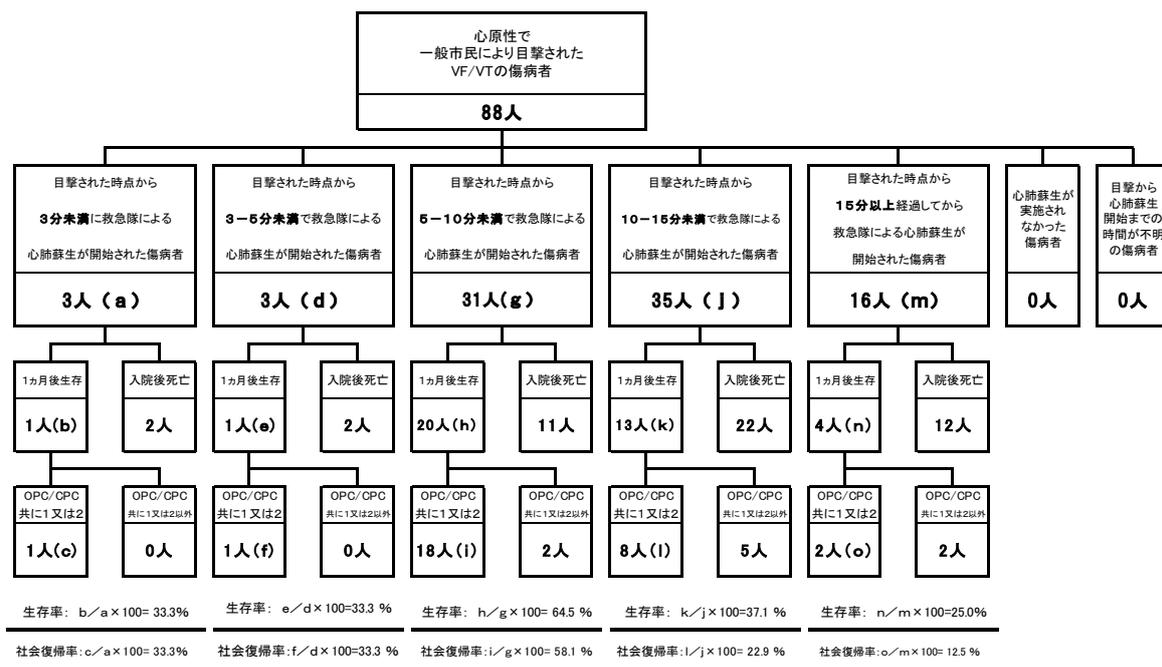


表 10 一般市民により目撃され、初期心電図波形が、VF 又は無脈性 VT であった傷病者における、救急隊による心肺蘇生が開始されるまでの時間別生存率（10 カ年推移）

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
心原性で一般市民により目撃されたVF/VTの傷病者		6	10	8	10	5	14	12	8	7	8
目撃された時点から3分未満に救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
1か月後生存		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
生存率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
社会復帰率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
目撃された時点から3-5分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		0	0	1	0	0	2	0	0	0	0
1か月後生存		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
生存率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
社会復帰率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
目撃された時点から5-10分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		4	2	4	4	2	4	3	4	2	2
1か月後生存		3	2	1	3	2	2	2	3	1	1
生存率		75.0%	100.0%	25.0%	75.0%	100.0%	50.0%	66.7%	75.0%	50.0%	50.0%
OPC/CPC共に1又は2		3	1	1	3	2	1	2	3	1	1
社会復帰率		75.0%	50.0%	25.0%	75.0%	100.0%	25.0%	66.7%	75.0%	50.0%	50.0%
目撃された時点から10-15分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		1	6	3	5	2	4	5	3	3	3
1か月後生存		0	5	1	2	1	0	1	0	2	1
生存率		0.0%	83.3%	33.3%	40.0%	50.0%	0.0%	20.0%	0.0%	66.7%	33.3%
OPC/CPC共に1又は2		0	2	0	1	1	0	1	0	2	1
社会復帰率		0.0%	33.3%	0.0%	20.0%	50.0%	0.0%	20.0%	0.0%	66.7%	33.3%
目撃された時点から15分以上経過してから救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		1	2	0	1	1	3	4	1	2	1
1か月後生存		0	1	0	0	0	0	2	1	0	0
生存率		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
社会復帰率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
心肺蘇生が実施されなかった傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (8) 一般市民により目撃され、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率

一般市民により目撃され、救急隊による除細動が実施された傷病者は8人であり、そのうち1ヵ月後生存者は2人であり、いずれも社会復帰している(図20参照)。10ヵ年集計については、図21のとおり。10ヵ年推移については、表11のとおり。

図20 一般市民により目撃され、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率(令和2年)

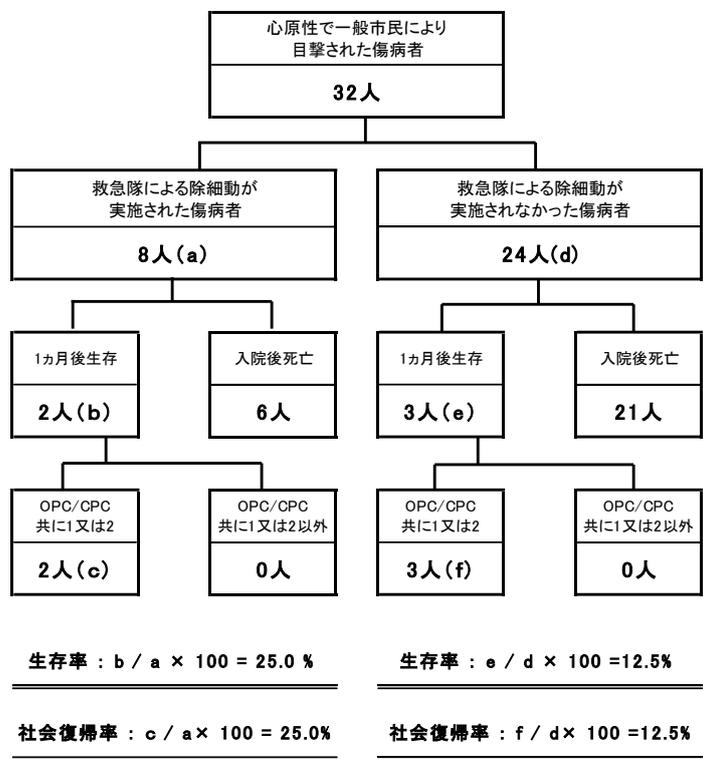


図21 一般市民により目撃され、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率(10ヵ年集計)

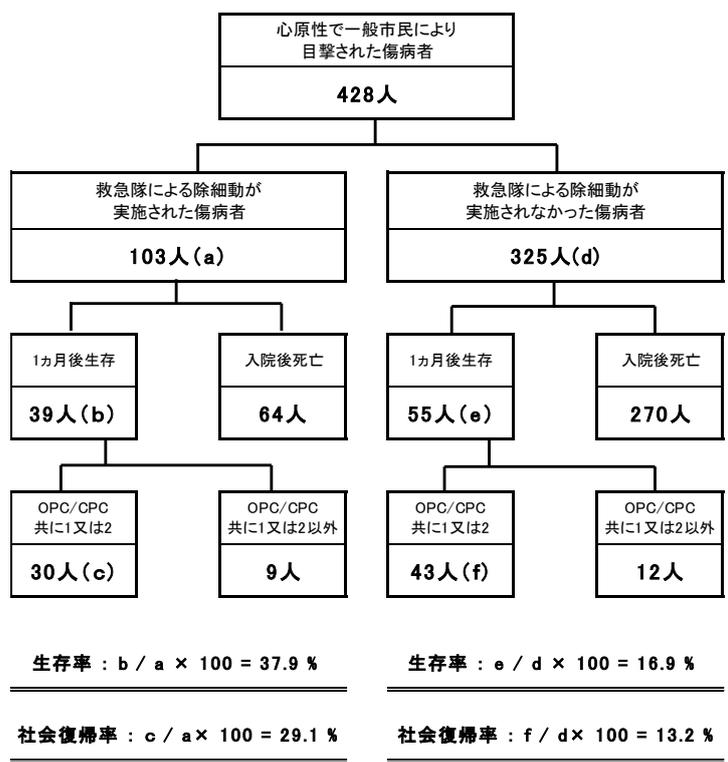


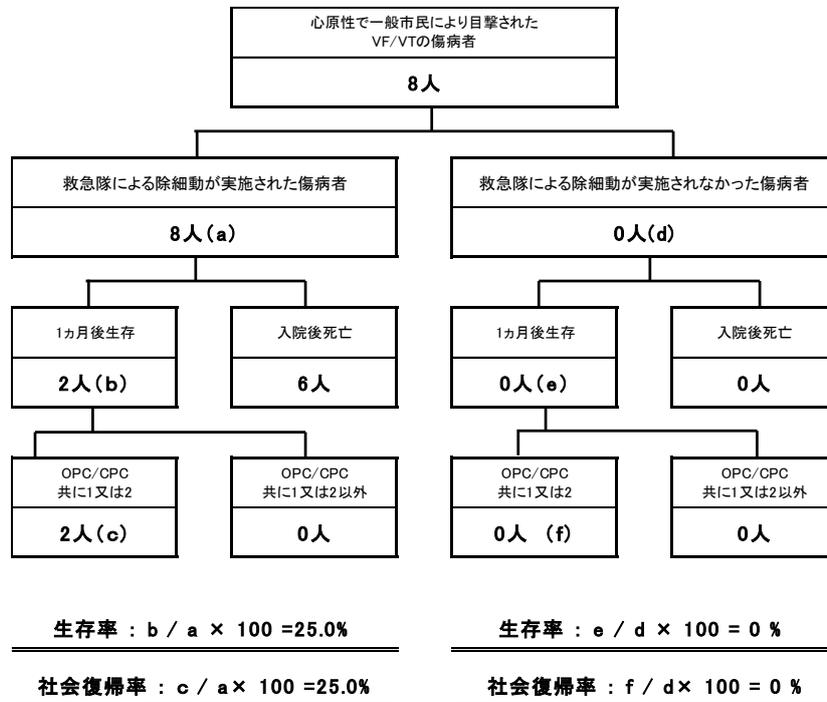
表 11 一般市民により目撃され、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率（10 ヶ年推移）

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
心原性で一般市民により目撃された傷病者		70	66	48	45	40	41	32	26	28	32
救急隊による除細動が実施された傷病者		8	14	11	10	7	15	13	9	8	8
1か月後生存		3	8	2	5	3	4	5	4	3	2
生存率		37.5%	57.1%	18.2%	50.0%	42.9%	26.7%	38.5%	44.4%	37.5%	25.0%
OPC/CPG共に1又は2		3	3	1	4	3	3	5	3	3	2
社会復帰率		37.5%	21.4%	9.1%	40.0%	42.9%	20.0%	38.5%	33.3%	37.5%	25.0%
救急隊による除細動が実施されなかった傷病者		62	52	37	35	33	26	19	17	20	24
1か月後生存		14	12	6	7	5	5	3	0	0	3
生存率		22.6%	23.1%	16.2%	20.0%	15.2%	19.2%	15.8%	0.0%	0.0%	12.5%
OPC/CPG共に1又は2		12	11	4	4	4	3	2	0	0	3
社会復帰率		19.4%	21.2%	10.8%	11.4%	12.1%	11.5%	10.5%	0.0%	0.0%	12.5%
除細動の有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**(9) 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであり、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率**

一般市民により目撃され、初期心電図波形がVFまたは無脈性VTであり、救急隊による除細動が実施された傷病者は8人であり、そのうち1ヵ月後生存者は2人であり、いずれも社会復帰した(図22参照)。10ヵ年集計については、図23のとおり。10ヵ年推移については、表12のとおり。

**図22 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであり、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率(令和2年)**



**図23 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであり、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率(10ヵ年集計)**

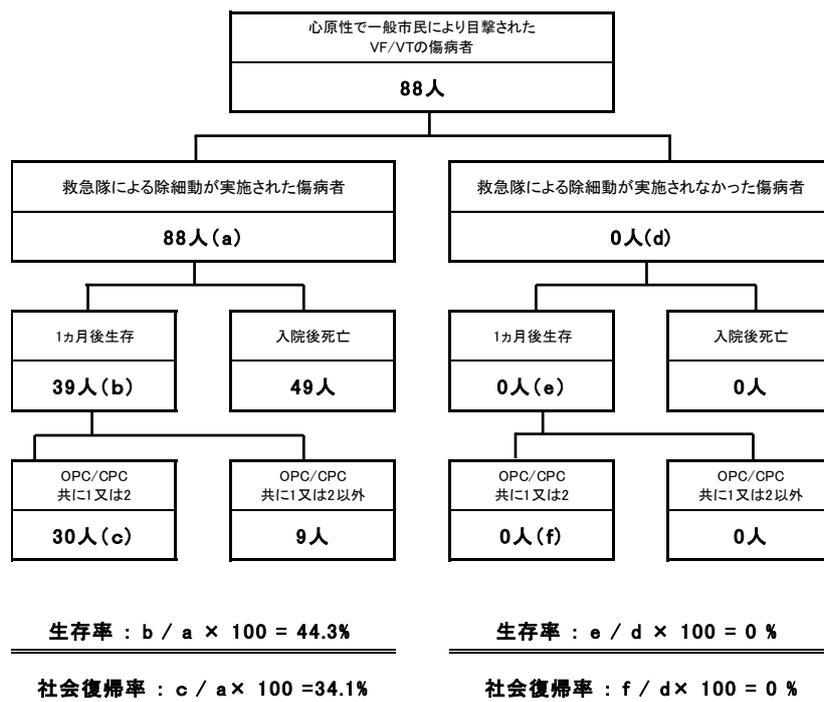


表 12 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF 又は無脈性VT であり、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率（10 ヶ年推移）

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
心原性で一般市民により目撃されたVF/VTの傷病者		6	10	8	10	5	14	12	8	7	8
救急隊による除細動が実施された傷病者		6	10	8	10	5	14	12	8	7	8
1か月後生存		3	8	2	5	3	4	5	4	3	2
生存率		50.0%	80.0%	25.0%	50.0%	60.0%	28.6%	41.7%	50.0%	42.9%	25.0%
OPC/CPC共に1又は2		3	3	1	4	3	3	5	3	3	2
社会復帰率		50.0%	30.0%	12.5%	40.0%	60.0%	21.4%	41.7%	37.5%	42.9%	25.0%
救急隊による除細動が実施されなかった傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1か月後生存		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生存率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会復帰率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
除細動の有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 5 非心原性の傷病者に関する分析

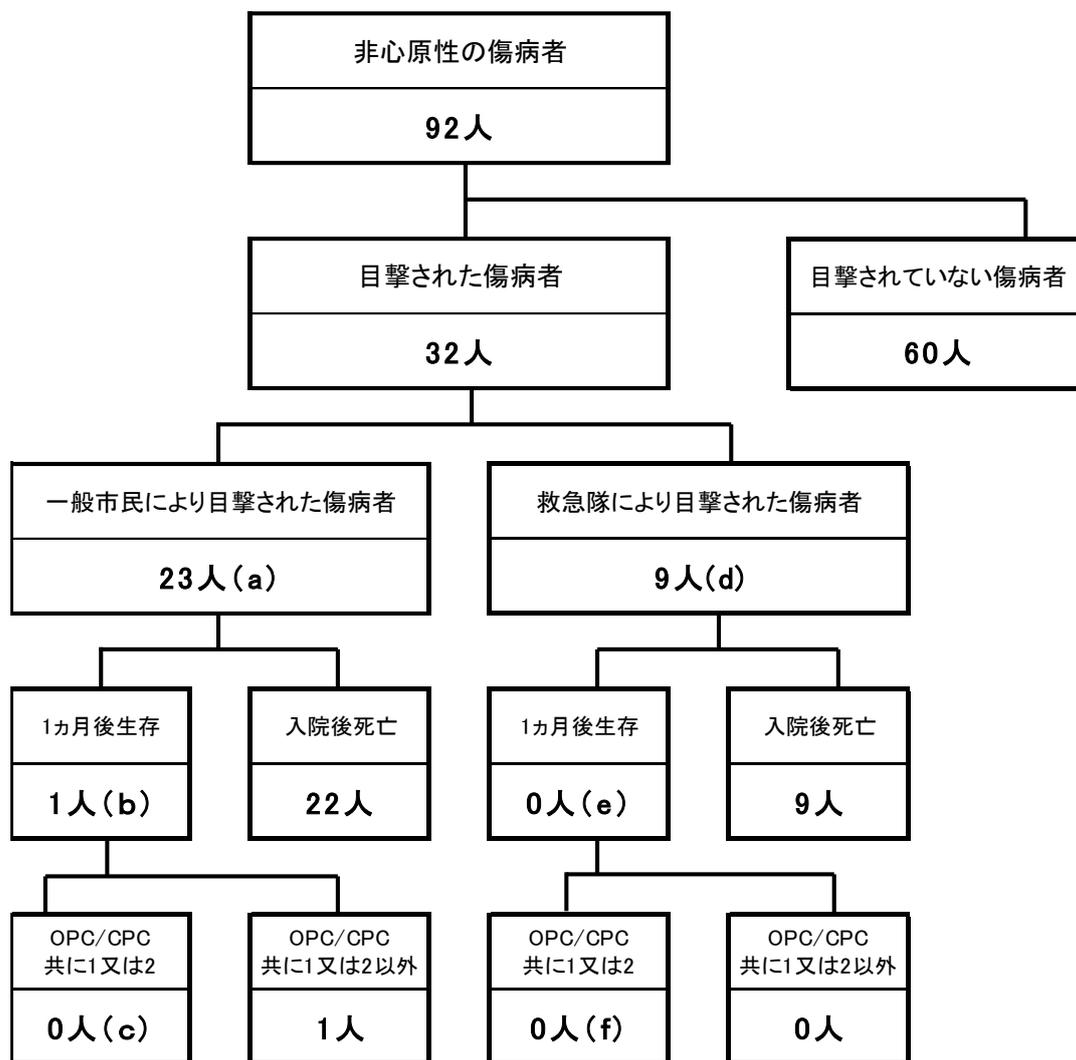
以下、非心原性の傷病者について分析する。

### (1) 一般市民により目撃された傷病者の生存率

非心原性で一般市民により目撃された傷病者は32人であり、うち1ヵ月後生存者は1人、1ヵ月後社会復帰者は0人であった（図24参照）。救急隊により目撃された傷病者は9人であり、うち1ヵ月生存者、1ヵ月後社会復帰者は共になかった。10ヵ年集計については、図25のとおり。10ヵ年推移については表13のとおり。

一般市民により目撃された傷病者の性別・年齢区分の10ヵ年集計については、表14のとおり。

図24 一般市民により目撃された傷病者の生存率（令和2年）



$$\text{生存率} : b / a \times 100 = 4.3 \%$$

$$\text{生存率} : e / d \times 100 = 0 \%$$

$$\text{社会復帰率} : c / a \times 100 = 0 \%$$

$$\text{社会復帰率} : f / d \times 100 = 0 \%$$

図 25 一般市民により目撃された傷病者の生存率（10 ヶ年集計）

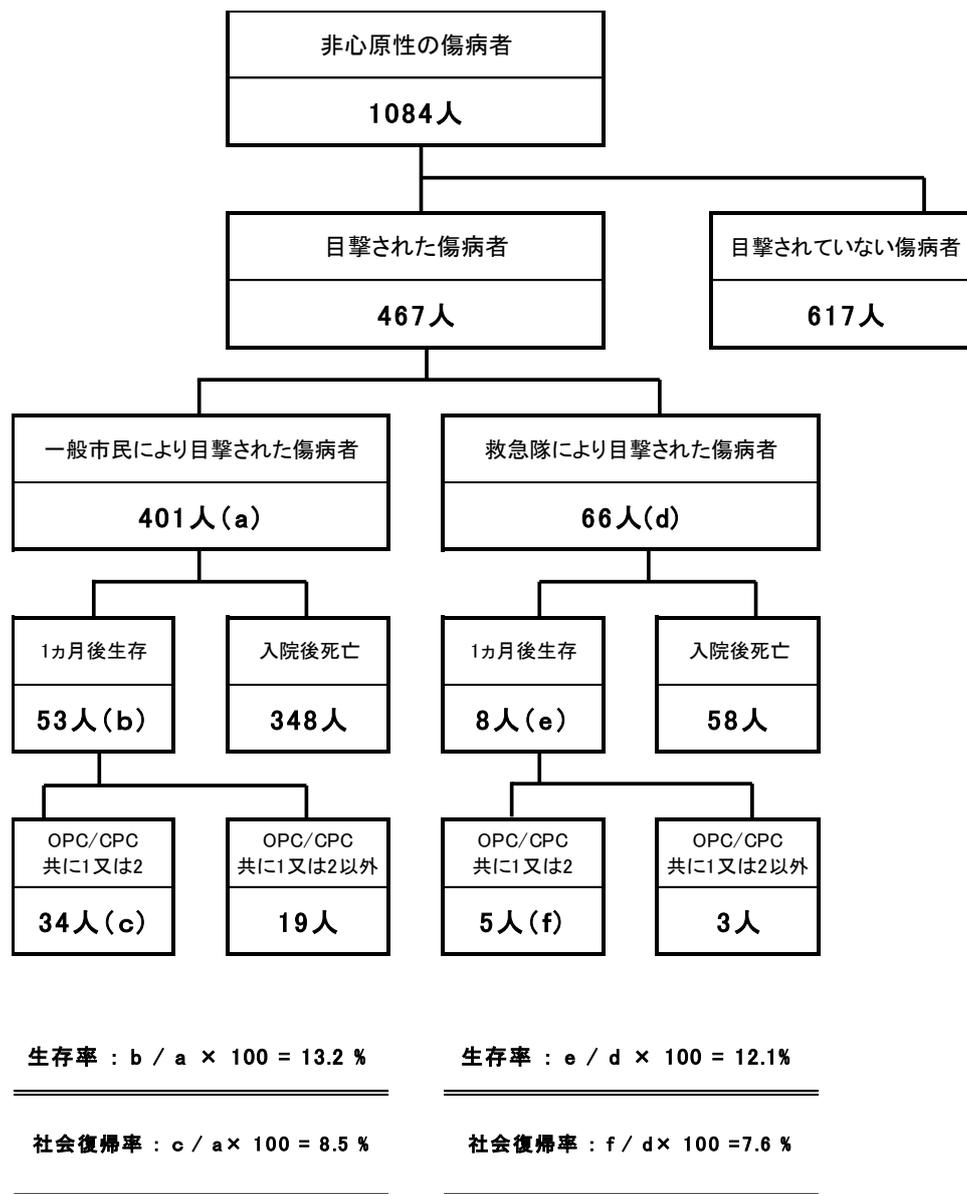


表 13 一般市民により目撃された傷病者の生存率（10 ヶ年推移）

区分	年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
非心原性の傷病者		74	94	121	129	127	116	108	127	96	92
目撃された傷病者		40	49	58	61	60	43	42	52	30	32
一般市民により目撃された傷病者		34	44	53	55	50	33	36	47	26	23
1ヵ月後生存		10	9	9	10	1	2	2	5	4	1
生存率		29.4%	20.5%	17.0%	18.2%	2.0%	6.1%	5.6%	10.6%	15.4%	4.3%
OPC/CPC共に1又は2		9	7	7	6	0	2	0	2	1	0
社会復帰率		26.5%	15.9%	13.2%	10.9%	0.0%	6.1%	0.0%	4.3%	3.8%	0.0%
救急隊により目撃された傷病者		6	5	5	6	10	10	6	5	4	9
1ヵ月後生存		1	0	1	1	2	1	1	0	1	0
生存率		16.7%	0.0%	20.0%	16.7%	20.0%	10.0%	16.7%	0.0%	25.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		1	0	1	1	0	1	1	0	0	0
社会復帰率		16.7%	0.0%	20.0%	16.7%	0.0%	10.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
目撃されなかった傷病者		34	45	63	68	67	73	66	75	66	60

表 14 一般市民により目撃された傷病者の性別・年齢区分別生存率(10ヵ年集計)

		10ヵ年集計											
		総数	非心原性で一般市民により目撃された傷病者										
			男性						女性				
			人	1ヵ月後生存		1ヵ月後社会復帰		人	1ヵ月後生存		1ヵ月後社会復帰		
	1ヵ月後生存率			1ヵ月後社会復帰率		1ヵ月後生存率			1ヵ月後社会復帰率				
年齢区分	0~9	20	8	5	4	80.0%	4	80.0%	3	3	100.0%	2	66.7%
	10~19	10	2	2	1	50.0%	1	50.0%	0	0	0.0%	0	0.0%
	20~29	37	9	6	0	0.0%	0	0.0%	3	2	66.7%	2	66.7%
	30~39	46	12	9	1	11.1%	1	11.1%	3	0	0.0%	0	0.0%
	40~49	71	11	8	3	37.5%	3	37.5%	3	0	0.0%	0	0.0%
	50~59	121	14	11	3	27.3%	1	9.1%	3	0	0.0%	0	0.0%
	60~69	299	51	35	7	20.0%	4	11.4%	16	4	25.0%	2	12.5%
	70~79	494	79	48	1	2.1%	0	0.0%	31	1	3.2%	0	0.0%
	80~89	837	144	72	5	6.9%	4	5.6%	72	6	8.3%	4	5.6%
	90~99	450	67	18	3	16.7%	2	11.1%	49	8	16.3%	4	8.2%
	100~119	29	4	1	0	0.0%	0	0.0%	3	1	33.3%	0	0.0%
不詳	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%	
合計	2414	401	215	28	13.0%	20	9.3%	186	25	13.4%	14	7.5%	

### (3) 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率

一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者は13人であり、そのうち1ヵ月後生存者は1人であり、うち1ヵ月後社会復帰者はなかった(図26参照)。10ヵ年集計については、図27のとおり。10ヵ年推移については、表15のとおり。

図26 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率(令和2年)

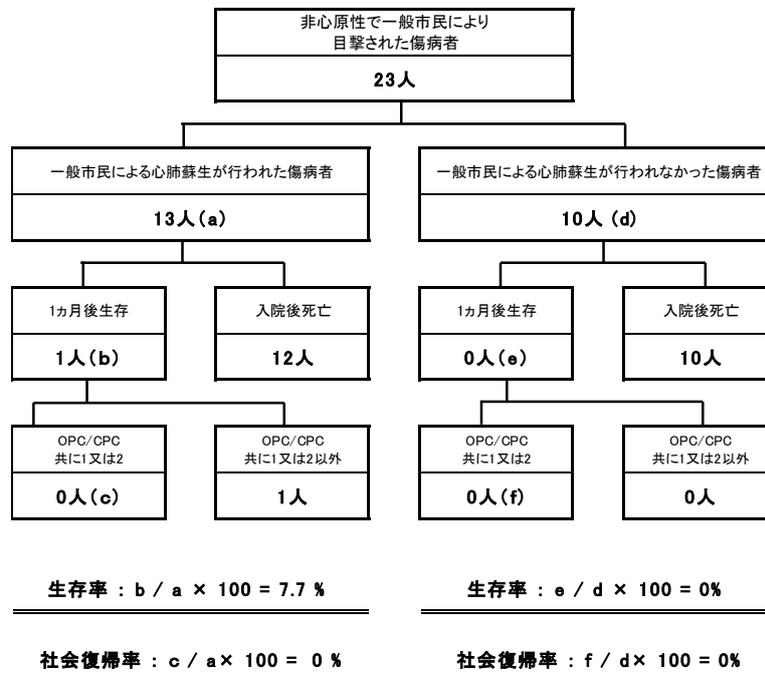


図27 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率(10ヵ年集計)

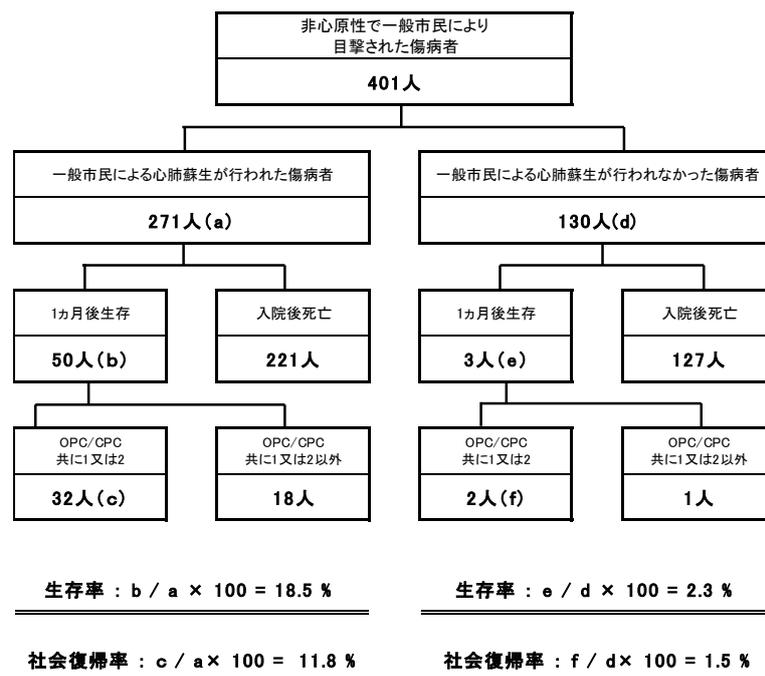


表 15 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率  
(10カ年推移)

区分 \ 年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
非心原性で一般市民により目撃された傷病者	34	44	53	55	50	33	36	47	26	23
一般市民による心肺蘇生が行われた傷病者	27	23	31	40	37	29	21	33	17	13
1か月後生存	10	7	9	9	1	2	2	5	4	1
生存率	37.0%	30.4%	29.0%	22.5%	2.7%	6.9%	9.5%	15.2%	23.5%	7.7%
OPC/CPC共に1又は2	9	5	7	6	0	2	0	2	1	0
社会復帰率	33.3%	21.7%	22.6%	15.0%	0.0%	6.9%	0.0%	6.1%	5.9%	0.0%
一般市民による心肺蘇生が行われなかった傷病者	7	21	22	15	13	4	15	14	9	10
1か月後生存	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0
生存率	0.0%	9.5%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
社会復帰率	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%